

会議・打合せ
等記録

教育長	教育次長	課長	管理者	担当	所内

報告日：令和6年2月19日

名 称	令和5年度自然体験交流センター運営委員会
日 時	令和6年2月16日（金） 14時00分～15時20分
場 所	鹿沼市自然体験交流センター研修室
出 席 者	運営委員会委員 11名（別紙のとおり） 事務局 金子所長、野原管理者、福田、荒木、岸野、前田 交流C：岸野
内容及び 結果等	<p>1 開会（金子所長）</p> <p>2 委員長選出 稲富委員長、郷副委員長を選出。委員長、副委員長挨拶。</p> <p>3 報告事項 （1）令和5年度の運営状況について ア）利用状況について（説明者：岸野） イ）学校利用について（ ” ：福田） ウ）主催事業について（ ” ：荒木）</p> <p>4 協議事項 （1）令和6年度運営方針（案）について （説明者：野原） （2） ” 学校利用について （ ” ：荒木） （3） ” 交流センター主催・共催等事業について （ ” ：前田） （4）寝具使用料およびリネンサプライ料の改定について（ ” ：岸野） ※ 原案通り可決 （5）その他 （委員1）寝具使用料およびリネンサプライ料については承認したが、1日500円程度まで価格を上げて良いのではないかと。 （委員2）小中学校では少子化が進み、行事を行う際は1児童あたりの負担が大きくなっている。実費負担で留めるという考えは、学校の立場から大変ありがたいと考える。 （委員1）学校利用は安く、一般利用は大きく値上げという考え方はできないか。 （事務局）実費を原則と考えて提案した。また市の使用料手数料審議会における考え方に準じ、1.5倍の額とした。ご理解願いたい。 （委員3）自分が中心となって、センターの利用を薦めた。大変好評であったが、キャンプファイヤーを終えた後、宿泊管理棟までの照明が無かったことと、朝食の内容について指摘を受けた。 （事務局）照明設備はあるので、行き違いにより点灯しなかったと思われる。また食事については、委託先と協議する。 （委員4）地元の野菜などの収穫体験を行い、それを使って調理を行うなど連携した活動を検討してほしい。</p>

配布資料	別添の通り		
次回予定			
記録者	岸野		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0人

令和5年度 鹿沼市自然体験交流センター運営委員会

日時：令和6年2月16日（金）

午後2時より

場所：自然体験交流センター研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 令和5年度の運営状況について

ア) 利用状況について

イ) 学校利用について

ウ) 主催事業について

4 協議事項

(1) 令和6年度運営方針（案）について

(2) " 学校利用について

(3) " 交流センター主催・共催等事業について

(4) 寝具使用料およびリネンサプライ料の改定について

(5) その他

5 そ の 他

6 閉 会

鹿沼市自然体験交流センター運営委員会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

番号	氏名	備考	所属	規則該当号
1	三澤雅子		鹿沼市小中学校校長会 南摩小学校校長	13条1項1号 市内小中学校長
2	森田光明	欠席	鹿沼市PTA連絡協議会 理事 西小学校PTA会長	13条1項2号 市内小中学校PTA関係者
3	稲富照子		鹿沼市スポーツ少年団 副本部長 同指導者協議会会長	13条1項3号 青少年育成団体関係者
4	佐藤和也		鹿沼市子ども会連合会 会長	
5	渡辺保		鹿沼市森林組合 代表理事組合長	13条1項4号 知識経験を有する者
6	大久保昌章	欠席	上都賀郡市医師会(南部地区)代表	
7	廣田稔		鹿沼市環境審議会 委員	
8	潮田知保		自然体験交流センター 管理運営スタッフ会議 会長	
9	永嶋龍一		栃木県県西環境森林事務所 環境部長	13条1項5号 関係行政機関の職員
10	福留功 (代理 大家世志子)		鹿沼警察署 生活安全課長 (生活安全課人身安全少年第二係長)	
11	佐藤誠		鹿沼市議会議員	13条1項6号 市議会の議員
12	兼目千恵子	欠席	鹿沼市社会教育委員会副委員長	13条1項7号 社会教育委員
13	竹澤英明		経済部長	13条1項8号 市の職員
14	郷昭裕		教育次長	13条1項8号 市の職員

報告事項

(1) 令和5年度の運営状況について

ア) 利用状況について

小中学校で実施している自然生活体験学習の受入施設として、子供たちが主体的に考え、自ら解決策を見出していく過程を重視したプログラムを提供した。また主催事業を中心に、自然体験を通じた親子の触れ合いや、地域の人々との交流を促進する事業を展開することができた。

利用状況

1 宿泊

(単位 人)

区分		R1	R2	R3	R4	R5(12月末時点)
学校	高校生以上	385	0	133	252	261
	中学生以下	3,133	0	854	1,736	1,958
	計	3,515	0	987	1,988	2,219
一般	高校生以上	1,137	125	158	557	769
	中学生以下	1,759	319	431	971	1,145
	計	2,896	444	589	1,528	1,914
合計	高校生以上	1,522	125	291	809	1,030
	中学生以下	4,892	319	1,285	2,707	3,103
	計	6,414	444	1,576	3,516	4,133

2 体験施設

(単位:人)

区分		R1	R2	R3	R4	R5(12月末時点)
学校	高校生以上	958	253	428	192	393
	中学生以下	4,541	1,396	2,515	1,274	2,605
	計	5,499	1,649	2,943	1,466	2,998
一般	高校生以上	4,172	528	599	1,582	2,230
	中学生以下	5,185	1,393	1,178	2,199	2,572
	計	9,357	1,921	1,777	3,781	4,802
合計	高校生以上	5,130	781	1,027	1,774	2,623
	中学生以下	9,726	2,789	3,693	3,473	5,177
	計	14,856	3,570	4,720	5,247	7,800

※ 延べ利用者数。「学校」は市内小中学校に限り、他は一般利用に含む。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染防止による行動制限が緩和・廃止されたこともあり、利用者数は増加したものの、コロナ渦以前の利用までは回復していない。

イ) 学校利用について

鹿沼市内学校

	学 校 名	学 年	利用期間	泊 数	参加児童 生徒数 (実人数)	参 加 教員数 (実人数)	その他 (保護者・支援 委員の実人数)	外部講師 (実人数)	参加総数
1	中央小学校	4年	11/13～11/15	2泊3日	63	5	0	0	68
2	東小学校	4年	10/17～10/18 10/19～10/20	1泊2日×2回	114	10	0	0	124
3	西小学校	4年	6/5～6/7	2泊3日	28	7	0	0	35
4	北小学校	4年	6/7～6/9	2泊3日	39	6	0	0	45
5	菊沢東小学校	4年	5/22～5/24	2泊3日	45	6	0	0	51
6	菊沢西小学校	4年	10/2～10/4	2泊3日	12	5	0	0	17
7	石川小学校	4年	9/25～9/27	2泊3日	25	5	20	0	50
8	津田小学校	4年	5/31～6/2	2泊3日	20	5	0	0	25
9	池ノ森小学校	3・4年	6/19～6/20	1泊2日	11	3	0	0	14
10	さつきが丘小学校	4年	10/23～24 10/24～25 10/25～26	1泊2日×3回	102	12	0	0	114
11	みどりが丘小学校	4年	5/24～5/26	2泊3日	81	7	0	0	88
12	北押原小学校	4年	9/27～9/29	2泊3日	65	8	0	0	73
13	加園小学校	3年	9/20～9/21	1泊2日	4	4	0	0	14
		4年	9/20～9/22	2泊3日	6		0	0	
14	板荷小学校	3年	6/21～6/22	1泊2日	4	2	0	0	17
		4年	6/21～6/23	2泊3日	11		0	0	
15	南摩小学校	4年	5/31～6/2	2泊3日	12	6	0	0	18
16	上南摩小学校	4年	5/31～6/2	2泊3日	4	2	0	0	6
17	南押原小学校	3・4年	10/12～10/13	1泊2日	12	4	0	0	16
18	榆木小学校	3・4年	10/12～10/13	2泊3日	16	3	0	0	19
19	みなみ小学校	4年	9/20～9/22	2泊3日	27	7	0	0	34
20	栗野小学校	4年	6/28～6/30	2泊3日	35	9	0	0	44
21	清洲第一小学校	4年					0	0	
22	清洲第二小学校	4年					0	0	
23	永野小学校	4年					0	0	
24	粕尾小学校	4年					0	0	
25	東中学校	1年	利用なし						0
26	西中学校	1年	5/15～17 5/17～19	2泊3日×2回	115	11	0	0	126
27	北中学校	1年	9/13～9/14 9/14～9/15	1泊2日×2回	131	14	0	0	145
28	北犬飼中学校	1年	5/9～10・5/10～11 5/11～12	1泊2日×3回	80	12	0	0	92
29	北押原中学校	1年	9/5～9/6 9/7～9/8	1泊2日×2回	111	12	0	0	123
30	加蘇中学校	1年	8/30～9/1	2泊3日	12	3	0	0	15
31	板荷中学校	1年	6/21～23	2泊3日	17	2	0	0	19
32	南摩中学校	1年	4/26～28	2泊3日	14	4	0	0	18
33	南押原中学校	1年	4/22～24	2泊3日	22	4	0	0	26
34	栗野中学校	1年	7/12～14	2泊3日	33	6	0	0	39
35	アメニティホーム	小中学生	7/21・8/23・8/25・1/19	日帰り	6	5	5	1	17
36	県立富屋特別支援学校 鹿沼分校	小学部	7/6～7	1泊2日	21	13	0	0	34
37	県立富屋特別支援学校 鹿沼分校	中等部	6/26～27	1泊2日	22	15	0	0	37
合計					1320	217	25	1	1563

鹿沼市以外の学校等

NO	学 校 名	学 年	利用人数(教職員)	利 用 日
1	日 光 市 立 落 合 東 小 学 校	4年	24 (3)	7月18日(火) ~ 7月19日(水)
2	日 光 市 立 落 合 西 小 学 校	4年	10 (4)	11月21日(火) ~ 11月22日(水)
3	日 光 市 立 大 沢 小 学 校	4年	31 (3)	9月19日(火) ~ 9月20日(水)
4	日 光 市 立 小 林 小 学 校	4年	13 (3)	5月29日(月) ~ 5月30日(火)
5	日 光 市 立 下 原 小 学 校	4年	16 (4)	6月13日(火) ~ 6月14日(水)
6	日 光 市 立 鬼 怒 川 小 学 校	4年	8 (4)	6月13日(火) ~ 6月14日(水)
7	日 光 市 立 南 原 小 学 校	4年	55 (5)	11月1日(水) ~ 11月2日(木)
8	日 光 市 立 猪 倉 小 学 校	4年	18 (4)	7月4日(火) ~ 7月5日(水)
9	日 光 市 立 大 室 小 学 校	4年	38 (4)	11月16日(木) ~ 11月17日(金)
10	日 光 市 立 今 市 小 学 校	4年	44 (4)	5月30日(火) ~ 5月31日(水)
11	栃 木 県 立 盲 学 校	小学部 1~6年	8 (12)	7月7日(金)
12	栃 木 県 立 聾 学 校	小学部 4~6年	11 (12)	7月11日(火) ~ 7月12日(水)
13	栃 木 県 立 栃 木 特 別 支 援 学 校	中学部 1~3年	13 (8)	7月3日(月) ~ 7月4日(火)
14	栃 木 県 立 今 市 特 別 支 援 学 校	中学部 1~3年	13 (9)	7月10日(月) ~ 7月11日(火)
15	墨 田 区 立 小 学 校 特 別 支 援 学 級 (合 同)		59 (43)	11月6日(月) ~ 11月10日(金)
合 計			361 (122)	
			483	

ウ) 主催事業について

- 1 令和5年度主催事業計画の方針
前年度参加者の多かった事業を継続実施する。初参加者を優先する。
- 2 実施状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業数	16事業	5事業実施	16事業	17事業	12事業
参加者数	512	123	353	1039	970(見込み)

事業名	第1回自然体験学習関係者説明会	実施状況
主 旨	自然体験交流センターを利用する学校の教職員、および学校支援員を対象に、『交流センターを利用した効果的体験学習についての理解を深める』『プログラム体験を通して活動内容を理解し、指導や支援に生かす』ことを目的とする。	教員等 16名参加 満足度 100%
期 日	4月14日(金)日帰り	
主な内容	仲間作り体験、火おこし体験、ピザ試食、施設見学、利用説明、質疑応答など	
参加対象	小中学校の教職員および支援員	
募集定員	40名程度	

事業名	デイ☆キャンプ	実施状況
主 旨	キャンプファイアを通して、自然への関心を高めるとともに、野外活動に興味をもつ人同士の交流を深め、自然体験活動の楽しさを学ぶ。いちご市をPRする。	20組 66名参加 満足度 100%
期 日	4月22日(日)日帰り	
主な内容	ピザづくりコース、ハイキングコース、キャンプファイア	
参加対象	市内小中学生とその家族	
募集定員	14組程度	

事業名	「第1回森の教室」～ファミリーキャンプ～	実施状況
主 旨	家族でキャンプを始めようとする親子のふれあいや多くの家族との交流を深めるとともに、自然への関心を高め、キャンプの楽しさを学ぶ。	15組 50名参加 満足度 100%
期 日	6月10日(土)11日(日) 1泊2日	
主な内容	テント設営、バーベキュー、キャンプファイア、朝食作り、川遊び	
参加対象	市内小中学生とその家族	
募集定員	16家族程度	

事業名	第2回自然体験学習関係者説明会	実施状況
主 旨	自然体験交流センターを利用する学校の教職員、および学校支援員を対象に、『交流センターを利用した効果的体験学習についての理解を深める』『野外炊飯やプログラム体験を通して活動内容を理解し、指導や支援に生かす』ことを目的とする。	個別に実施 満足度 100%
期 日	7月27日(木) 日帰り	
主な内容	仲間作り体験、火おこし、ピザ試食、利用の仕方の説明、質疑応答など	
参加対象	市内市小・中学校教職員・特別支援・個別支援担当教員及び鹿沼市以外の小・中学校教職員等	
募集定員	15名程度	

事業名	かぬまっ子わくわくキャンプ	実施状況
主 旨	板荷の豊かな自然の中で、いろいろな人々に接しながら様々な体験をすることで、子どもたちが協調性・自主性・社会性を養うとともに、みんなで取り組む楽しさや喜びを味わう。	47名申し込み 36名参加 満足度 100%
期 日	8月5日(土)～8月8日(火) 3泊4日	
主な内容	仲間作りゲーム、トレジャーアドベンチャー、ナイトゲーム、魚つかみ、チャレンジ班活動、ピザ作り、防災キャンプ、川下り、キャンプファイア	
参加対象	鹿沼市内小学校4年生から中学校2年生まで	
募集定員	30名程度	

事業名	センター祭り わくわくの森交流広場(無料開放デー)	実施状況
主 旨	交流センターを広く一般に1日開放することにより、さらなる市民及び県内外への利用促進を進める。さらに学校の活動紹介をはじめ、団体や個人に対するPRと利用者及び大学生ボランティア等との交流を図ると共に、管理運営スタッフ会議の活動促進を図り、板荷地区の活性化を促す。	約600名
期 日	10月29日(日) 9時30分～14時30分	
主な内容	創作活動体験コーナー、食体験コーナー、地元お囃子・Diamond・さつきドリーマーズ発表ステージ、フリー出演コーナー、木工教室	

事業名	「第2回森の教室」 秋を極麺&星空観察	実施状況
主 旨	豊かな自然の中で、親子のふれあいや多くの家族との交流を深め、自然や環境に関する関心を高める。	11組 38名参加
期 日	11月11日(土)～12日(日)	
主な内容	ラーメン作り、リース作り 冬の星座についての説明、星の観望	満足度 100%
参加対象	小中学生とその家族	
募集定員	14家族程度	

事業名	第1回 窯焼きピッツアに挑戦	実施状況
主 旨	ピザ作りを通して、自然体験交流センターの活動内容への理解を深めるとともに、自然への関心を高め、自然生活体験学習の楽しさを学ぶ。	12組 36名参加
期 日	11月23日(木・祝) 日帰り	満足度 100%
主な内容	ピザづくり講習、選択創作活動(希望者)	
参加対象	自然体験やピザ作りに興味のある方(小学生以下は保護者同伴)	
募集定員	70名程度	

事業名	初めてのそば打ち	実施状況
主 旨	そば作りを通して、自然体験交流センターの活動内容への理解を深めるとともに、自然への関心を高め、自然生活体験学習の楽しさを学ぶ。	11名参加 満足度 100%
期 日	12月16日(土) 日帰り	
主な内容	そばの打ち方、講義&実技、質疑応答	
参加対象	初めてそば打ちをする方	
募集定員	10名程度	

事業名	第2回 窯焼きピッツアに挑戦	実施状況
主 旨	ピザ作りを通して、自然体験交流センターの活動内容への理解を深めるとともに、自然への関心を高め、自然生活体験学習の楽しさを学ぶ。	5組 13名参加 満足度 100%
期 日	1月13日(土) 日帰り	
主な内容	ピザづくり講習、選択創作活動(希望者)	
参加対象	自然体験やピザ作りに興味のある方(小学生以下は保護者同伴)	
募集定員	70名程度	

事業名	ちびっこキャンプ	実施状況
主 旨	豊かな自然の中で、親子のふれあいを深め、自然や環境に関する関心を高めるとともに、就学に向けて交流を深める。	22組 72名参加予定
期 日	2月17日(土)	
主な内容	ピザづくり、センター内簡単ウォークラリー、キーホルダーづくり等	
参加対象	令和6年に小学校へ就学する市内在住の幼児(年長児)とその家族	
募集定員	70名程度	

事業名	ドキドキ☆お別れ宿泊	実施状況
主 旨	さまざまな人々との交流を深め、協調性・自主性を養うと共に、みんなで取り組む楽しさや喜びを味わう。自然への関心を高め、自然への興味を深める。	
期 日	3月9日（土）10日（日） 1泊2日実施予定	
主な内容	仲間作りゲーム、夕食作り、夜のイベント、思い出の物づくりなど	
参加対象	小学校4年生～6年生のグループ	
募集定員	30名程度	

3 今年度の反省

- (1) 5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことにより、募集定員や食材・調理器具等の提供の仕方をコロナ禍以前の方式に戻し対応した。アンケートの結果を見ても、安心して利用していただけただけである。
- (2) かぬまっ子わくわくキャンプ参加者は、定員よりも希望者が多く、本年も抽選となった。実行委員の学生は15名の参加だった。子どもたちの活動を安全に進めるために、1班2～3名の実行委員を配置する体制で一班6名6グループ編制とした。
- (3) 日帰りの事業の参加人数がとても多い。特に小学校低学年や昨年度から始めたちびっこキャンプ（幼児対象）での参加親子が多い。野外活動を推進するきっかけづくりとなりつつある。
- (4) 初めてのそば打ちでは、1回目は管理運営スタッフ会議の講師部会より、初めてそばを打つ方にも失敗しないような指導を頂いた。
- (5) ドキドキ☆お別れ宿泊では、中学校に行ったら離れ離れになってしまう小学校6年生グループが参加するなどの申し込みが定着しつつある。
- (6) Microsoftフォームズを活用し、申し込み、人数把握、アンケートの実施などを行うことで参加者の利便性や業務の効率化を図ることができた。
- (7) このような情勢だからこそ、市民の憩いの場として、当センターの役割は大きい。来年度も、内容や方法を工夫し、可能な限り主催事業を実施していきたい。



令和5年度の主催事業について、交流センターのホームページにて報告しています。

令和6年度運営方針（案）について

自然体験交流センターは、山村の自然、文化、産業、人材等を活用した体験の機会を通じて、山村及び森林に対する理解を深めるとともに、地域の活性化を図るための施設として、平成18年に設置された。

◎ 課 題

1 利用者の減少

少子化の進展により、利用者の中心である児童・生徒数が減少している。またシニアの多様化が進み、利用者数が増えないことが原因と考えられる。

2 維持管理費の増加

経年により、修繕等の必要箇所も増え、また近年の物価上昇により、光熱費などを中心に費用負担が増している。

令和6年度鹿沼市自然体験交流センター運営方針（案）

- 1 自然体験や生活体験が豊富な子供は、自己肯定感が高く、道德観や正義感が育つ傾向にある。自然生活体験学習の充実を図り、提供プログラムの向上に努める。
- 2 「森の教室」や「かぬまっ子わくわくキャンプ」などを中心に、自然体験を通じた親子の触れ合いや、地域の人々との交流を促進する事業を展開する。
- 3 市内外の大学生と連携した事業を展開し、将来に向けた人材育成を図る。
- 4 ホームページやSNSなどを通じたPRを充実させ、首都圏などを中心に利用を働き掛けることで、利用促進を図る。
- 5 施設の維持管理に必要な費用については、利用料金の見直しなども含め、財源の確保に努める。

(2) 令和6年度の学校利用について

令和6年度 鹿沼市自然体験交流センター学校利用一覧

NO	学 校 名	学 年	利用予定人数(教職員)	利 用 日
1	中 央 小 学 校	4年	58 (5)	10/7 (月) ~ 10/9 (水)
2	東 小 学 校	4年	122 (10)	10/16 (水) ~ 10/18 (金) 10/23 (水) ~ 10/25 (金)
3	西 小 学 校	4年	34 (7)	11/20 (水) ~ 11/22 (金)
4	北 小 学 校	4年	64 (5)	6/5 (水) ~ 6/7 (金)
5	菊 沢 東 小 学 校	4年	55 (6)	5/22 (水) ~ 5/24 (金)
6	菊 沢 西 小 学 校	4年	13 (4)	9/18 (水) ~ 9/20 (金)
7	石 川 小 学 校	4年	30 (4)	10/9 (水) ~ 10/11 (金)
8	津 田 小 学 校	4年	25 (5)	5/29 (水) ~ 5/31 (金)
9	池 ノ 森 小 学 校	3・4年	8 (3)	9/12 (木) ~ 9/13 (金)
10	さ つ き が 丘 小 学 校	4年	81 (9)	5/13 (月) ~ 5/17 (金)
11	み ど り が 丘 小 学 校	4年	71 (7)	6/3 (月) ~ 6/5 (水)
12	北 押 原 小 学 校	4年	70 (5)	9/25 (水) ~ 9/27 (金)
13	加 園 小 学 校	3・4年	14 (4)	9/12 (木) ~ 9/13 (金)
14	板 荷 小 学 校	3・4年	9 (3)	6/19 (水) ~ 6/20 (木)
15	南 摩 小 学 校	4年	10 (5)	5/29 (木) ~ 5/31 (金)
16	上 南 摩 小 学 校	4年	3 (2)	(交流で実施)
17	南 押 原 小 学 校	3・4年	13 (2)	9/19 (木) ~ 9/20 (金)
18	榆 木 小 学 校	4・5年	16 (3)	(交流で実施)
19	み な み 小 学 校	4年	25 (6)	11/5 (火) ~ 11/7 (水)
20	粟 野 小 学 校	4年	33 (11)	10/2 (水) ~ 10/4 (金) (交流で実施)
21	清 洲 第 一 小 学 校	4年		
22	清 洲 第 二 小 学 校	4年		
23	永 野 小 学 校	4年		
24	粕 尾 小 学 校	4年		
①	東 中 学 校	1年	239	他施設で実施予定
②	西 中 学 校	1年	95 (8)	5/8 (水) ~ 5/10 (金)
③	北 中 学 校	1年	123 (12)	9/2 (月) ~ 9/6 (金)
④	北 犬 飼 中 学 校	1年	73 (7)	5/20 (月) ~ 5/22 (水)
⑤	北 押 原 中 学 校	1年	79 (8)	7/1 (月) ~ 7/3 (水)
⑥	加 蘇 中 学 校	1年	7 (3)	9/9 (月) ~ 9/11 (水)
⑦	板 荷 中 学 校	1年	13 (3)	6/19 (水) ~ 6/21 (金)
⑧	南 摩 中 学 校	1年	11 (5)	4/30 (火) ~ 5/2 (木)
⑨	南 押 原 中 学 校	1年	30 (5)	7/10 (水) ~ 7/12 (金)
⑩	粟 野 中 学 校	1年	29 (4)	4/24 (水) ~ 4/26 (金)
☆	ア メ ニ テ イ		未定	7/26(金), 8/21(水), 8/23(金), 1/17(金)
☆	富屋特別支援学校鹿沼分校	小学部	21 (11)	7/4 (木) ~ 7/5 (金)
☆	富屋特別支援学校鹿沼分校	中学部	26 (14)	7/16 (火) ~ 7/17 (水)

鹿沼市以外の学校等

1	日光市立落合東小学校	4年	25 (3)	6/13 (木) ~ 6/14 (金)
2	日光市立落合西小学校	4年	10 (4)	6/13 (木) ~ 6/14 (金)
3	日光市立大沢小学校	4年	31 (3)	6/12 (水) ~ 6/13 (木)
4	日光市立小林小学校	4年	15 (1)	6/24 (月) ~ 6/25 (火)
5	日光市立下原小学校	4年	31 (4)	7/8 (月) ~ 7/9 (火)
6	日光市立鬼怒川小学校	4年	10 (3)	11/28 (木) ~ 11/29 (金)
7	日光市立猪倉小学校	4年	17 (3)	6/11 (火) ~ 6/12 (水)
8	日光市立大室小学校	4年	51 (6)	10/31 (木) ~ 11/1 (金)
9	日光市立今市小学校	4年	37 (5)	6/27 (木) ~ 6/28 (金)
10	日光市立今市第二小学校	4年	49 (4)	11/7 (木) ~ 11/8 (金)
11	日光市立小来川小学校	3・4年	5 (3)	6/27 (木) ~ 6/28 (金)
12	日光市立中宮祠小学校	3年	5 (3)	6/27 (木) ~ 6/28 (金)
13	壬生町立羽生田小学校	4・5年	13 (4)	10/29 (火) ~ 10/30 (水)
14	栃木市立太平西小学校	4年	70 (6)	6/17 (月) ~ 6/18 (火)
15	栃木県立盲学校	4~6年	4 (5)	7/17 (木) ~ 7/18 (金)
16	栃木県立市立聾学校	4~6年	10 (10)	7/9 (火) ~ 7/10 (水)
17	栃木県立今市特別支援学校	中1・2	7 (6)	6/25 (火) ~ 6/26 (水)
18	墨田区特別支援学級合同宿泊	5・6年	未定	11/11 (月) ~ 11/13 (水) 11/13 (水) ~ 11/15 (金)

令和6年度 交流センター主催・共催等事業

親子を対象とした事業

◇森の教室

豊かな自然の中で、親子のふれあいや多くの家族との交流を深めるための事業です。

※わくわくネイチャー事業※

第1回 6月22日(土)～23日(日)

これからキャンプを始めてみたい方にノウハウを基礎の基礎からお伝えします

第2回 10月19日(土)～20日(日)

自然の中で野外調理やクラフト活動を通して家族の絆

を深めましょう。

第3回 3月8日(土)～9日(日)

学年最後の思い出づくりを目的とした、子どもたちだけの宿泊学習です。

◇ちびっこキャンプ 2月8日(土)

未就学児の子ども(年長児優先)とその家族を対象に、自然体験の日帰りキャンプを体験していただ

子どもを対象とした事業

◇かぬまっ子わくわくキャンプ ※わくわくネイチャー事業※

8月3日(土)～8月6日(火) 3泊4日

多くの人々や自然の中で、様々な体験を通して、子どもたちが協調性・自主性・社会性を養い、みんなで取り組む楽しさや喜びを味わう。



一般利用者を対象とした事業

◇窯焼きピッツァに挑戦! 5月25日(木)

センター自慢の石窯で焼きあげて食べます。

◇初めてのそば打ち! 12月14日(土)

初めてそば打ちを体験する方向けの講座です。

◇自然体験交流センターまつり 11月16日(土)

センターを1日開放します。

◇キャンプ受け入れ事業

フリーキャンプを受け付ける。西林間をフリーテントサイトとして開放。受け入れ可能日はホームページで紹介。

自然体験促進事業

◇デイ☆キャンプ 4月20日(土)

自然体験と野外調理の2つのコースにわかれて、日帰りのキャンプを体験できます。

◇自然体験学習関係者説明会 ※指導者のためのスキルアップ講習会

4月12日(金) 8月22日(木)

【学校関係者対象】

今年度センターを利用する学校関係者などを対象に、利用のための手続きや活動内容を理解し、指導や支援に生かします。



鹿沼市自然体験交流センター
〒321-1111 鹿沼市板荷6130
TEL 0289-64-8760 FAX 0289-64-8886



(4) 寝具使用料およびリネンサプライ料の改定について

自然体験交流センター宿泊者には、施設使用料と合わせて、寝具使用料及びリネンサプライ料の実費負担をお願いしている。

令和6年3月1日からの利用について、以下の契約額となった。

- 寝具使用料：1泊あたり **83.6**円（1日あたり41.8円）
- リネンサプライ料：1組 **251.9**円（シーツ2枚、枕カバー1枚）

このため料金の改定について、運営委員会に諮るものである。

ア 料金について（消費税込み）

項目	現行料金	改定料金
寝具使用料	1泊あたり70円	1泊あたり80円
リネンサプライ	1セット150円	1セット250円
計	220円	330円

イ 改定時期について

令和6年 4月 1日

鹿沼市自然体験交流センター運営委員会 関係条例および規則

鹿沼市自然体験交流センター条例（抜粋）

（運営委員会）

第15条 センターの運営に関する事項を協議するため、鹿沼市自然体験交流センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

- 2 運営委員会は、委員15人以内をもって組織し、市長が委嘱し、又は任命する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることを妨げない。

鹿沼市自然体験交流センター条例施行規則（抜粋）

（運営委員会）

第13条 条例第15条に規定する鹿沼市自然体験交流センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 市内小中学校長
- (2) 市内小中学校PTA関係者
- (3) 青少年育成団体関係者
- (4) 知識経験を有する者
- (5) 関係行政機関の職員
- (6) 市議会の議員
- (7) 社会教育委員
- (8) 市の職員

（委員長及び副委員長）

第14条 運営委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員のうちから互選する。

- 2 委員長は、運営委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第15条 運営委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（運営委員会への委任）

第16条 前3条に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が運営委員会に諮って定める。